



自分を高める1年に

昨年は平泉小で約1年間、臨時の給食調理員として働きました。学校では1日があっという間。子どもたちからパワーをもらいながら、毎日楽しく過ごせた1年でした。今年は自分を高めていけるよう、自分を褒めながら着実に歩んでいきたいです。なかなか上達しなかったパソコン操作も、今年こそはマスターしたいです！



絶対に県大会に行って1勝するぞー

僕は野球を頑張りたいです。去年は県大会に行けなかったのが、2008年は、キャプテンとしての自覚を持ち、みんなを引っ張りながら県大会に行きたいです。僕が4年生だったころは、2度も県大会に行ったけど、1勝もできずに終わったので、絶対1勝をしたいです。



6年生で頑張りたいこと

私が今年頑張りたいことは、スポ少のバレーボールと合奏団の練習です。バレーの試合では、あまり出してもらえないので、今年はお出してもらえよう頑張りたいです。合奏団では、パートリーダーになったので、みんなの役に立てるいいパートリーダーになりたいです。



とことん頑張りたい

昨年は、周りの人に対する感謝の気持ちをこれまで以上に持てるようになり、自分が大きく成長できたと感じています。今年は趣味や仕事をとことん頑張りたい、さらに充実した年にしたいです！今熱中している書道では、賞を取ることが目標です。平泉のために自分ができることを見つけ、ぜひ実践していきたいです。

町内8人の子年

生まれの方に

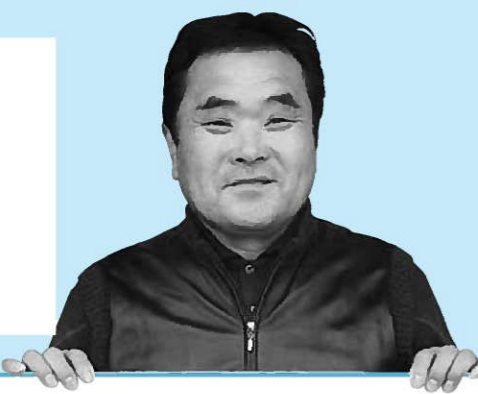
のようなしつかりとした丈夫な歯にあやかるうというものです。
▼ネズミはことわざにもしばしば登場します。弱者でも追い詰められると強い者に逆襲するという意味の「窮鼠猫を噛む」や、前触れの騒ぎばかりが大きくなって、実際の結果は極めて小さいことの例えである「大山鳴動して鼠一匹」などはよく知られています。
▼そのほか「鼠がいなくなればその家に火災がある」「鼠が逃げ出すのを見たらその船に乗るな」などの俗説もあります。ネズミが逃げ出すような大きな災いがない、いい年であることを今年も祈りたいものです。

今年の子年。十二支の一番手ですが、なぜ一番なのでしょう。これは昔、中国で時刻や方角を表すのに用いた子(し)、丑(ちゆう)、寅(いん)……の12の方位に、それぞれ動物を当てはめたことによるものです。
▼ネズミは、齧歯目(ネズミ目)ネズミ科に属する哺乳類。上下のあごにそれぞれ一對の大きな門歯があるのが特徴で、これは一生伸び続けます。子どもの乳歯が抜けると、「ネズミの歯になれ」などと、家の屋根の上に向かって高く放り投げるのは、ネズミ

今年の子年

今年の抱負を聞

いてみました



小まめに若々しく！

仕事の屋根工事で昨年は、町内外を駆け回って仕事をさせていただきました。現場を見に来た方から、その場で仕事を頼まれたことがとてもうれしく、印象に残っています。今年はずみ年。還暦を迎えましたが、気持ちはまだまだ30代です！ ねずみのように小まめに動き回り、ますますいい仕事をしたいですね！

今年頑張ること

私が今年頑張ることは、国語と算数です。訳は、一番苦手な教科だし、去年も苦手をなくせませんでした。だから、国語と算数を頑張ります。あと、私の習っている、モダンダンスとピアノも頑張ります。今年、もっと上手になりたいと思います。



今年平小の顔

今年、僕たちは6年生で平小の顔です。6年生は平小のみんなを引っ張っていく学年です。平小で一番頑張っているあいさつ運動をますます盛んにしていきたいです。あいさつは、心を晴れやかにします。僕は、そんなあいさつでいっぱい平小にしていきたいです。



チャレンジの年に！

昨年は慌ただしい1年を過ごしました。今年にはチャレンジすることを新たに見つけ、記憶に残るいい年にしたいですね。家庭では、家族と過ごす時間をもう少し増やせるように頑張りたいです。いよいよ世界遺産登録の年。私も自分ができることを探し、できるだけ協力していきたいと思えます！